

# 情報処理学会四国支部平成 25 年度支部報告会

日時：平成 25 年 6 月 14 日（金）14:30～16:30

場所：香川大学工学部 4301 教室

(〒761-0396 香川県高松市林町 2217-20)

## 1. 支部報告会 14:30～15:00

□ 開会の辞

□ 支部長挨拶 -香川大学工学部電子・情報工学科教授 最所圭三支部長

□ 本部役員挨拶 -情報処理学会 池内理事

□ 報告事項

・平成 24 年度事業等実施状況および平成 25 年度活動計画案について（資料 1）

・平成 24 年度決算報告および平成 25 年度予算案について（資料 2）

・平成 25 年度支部運営委員改選結果および平成 25 年度支部運営委員について（資料 3）

・平成 25 年度電気関係学会四国支部連合大会の開催について（資料 4）

□ 閉会の辞

## 2. 講演会 15:00～16:30

講演者：東京大学大学院情報学環,生産技術研究所教授

池内克史 氏（情報処理学会理事）

講演表題：「デジタルミュージアムと観光」

懇親会 17:00～18:30 頃 香川大学工学部生協

## ■平成24年度事業等実施状況

	会議名	開催日	会場	出席
【1】	支部通常総会	平成24年6月8日	愛媛大学	25名
【2】	定例役員会 3回 第一回支部役員会 第二回支部役員会 第三回支部役員会	平成24年6月8日 平成24年12月1日 平成25年3月16日	愛媛大学 JRホテルクレメント高松 会議場 JRホテルクレメント高松 会議場	20名（幹事、支部委員 2011年度役員含む） 12名（幹事、支部委員） 11名（幹事、支部委員）
【3】	支部大会 平成24年度 電気関係学会四国支部連合大会	平成24年9月29日	四国電力株式会社 総合研修所	
【4】	支部講演会 6回 (1) 利用者主導サービスのための情報技術 講師：橋田 浩一氏（独）産業技術総合研究所） (2) ソフトウェアテストツールの最前線 講師：湯本 剛氏（日本ヒューレット・パッカード株式会社） (3) クイズ番組に挑戦した質問応答システム“Watson”と、その実用化に向けて 講師：金山 博氏（日本アイ・ピー・エム株式会社東京基礎研究所） (4) 企業におけるソフトウェアの品質保証・管理活動について 講師：菅田 直美氏（日本電気） (5) 問題の本質を見る力を情報セキュリティ等の切り口を題材に考える 岡谷 貢氏（富士通システム統合研究所） (6) IT技術者について 講師：秋元 裕和氏（IPA）	平成24年6月8日 平成24年11月8日 平成24年11月12日 平成24年12月7日 平成25年1月15日 平成25年1月23日	愛媛大学 香川大学 香川大学 香川大学 香川大学 愛媛大学	25名 38名 33名 38名 50名 62名
【5】	支部共催事業 (1) ソフトウェアテストシンポジウム2012四国 (2) EPOCH@まつやま (3) 情報セキュリティシンポジウム道後2013 (4) オープンソースカンファレンス2013 Tokushima	平成24年7月13日 平成24年11月23日～24日 平成25年2月28日～3月2日 平成25年3月9日	香川大学 愛媛大学 松山市立子規記念博物館及び道後のホテル とくぎんトモニプラザ（徳島県青少年センター）	71名 18チーム（2名1組）
【6】	支部後援事業 1回 かがわ情報化推進協議会設立20周年記念事業 「IPAセミナー in 高松～セキュリティとソフトウェアエンジニアリング～」	平成24年12月7日	e-とびあ・かがわ BBスクエア	80名
【7】	学生奨励賞 電気学会四国支部、電子情報通信学会四国支部と合同で 46名表彰			

## ■平成25年度活動計画（案）

【1】	支部報告会 新年度役員、平成24年度報告、平成25年度計画、収支状況の報告など 記念講演会
【2】	支部役員会等 4回 支部幹事および支部委員合同会議を実施する。
【3】	支部大会 電気関係学会四国支部連合大会を共催し、支部会員の研究発表の場を設ける。
【4】	支部講演会 講演会を実施・後援する。実施にあたっては、支部会員にとって有意義なテーマを選定する。
【5】	支部共催事業 四国で開催される情報分野のセミナー等を共催する。予定されているセミナー等は以下である。 ・ソフトウェアテストシンポジウム四国 ・四国オープンソースセミナー（オープンソースカンファレンス） ・EPOCH@まつやま ・エンタテインメントコンピューティング2013 ・情報セキュリティシンポジウム道後
【6】	表彰 電気学会四国支部、電子情報通信学会四国支部と合同で学生奨励賞等を贈呈する。
【7】	その他 四国地区における情報関連学会との交流を図る。

## ■平成24年度決算報告および平成25年度予算

収入	2012年度		2013年度
	予算	決算	予算
本部からの繰入相当額	1,349,000	1,250,000	1,395,000
支部交付金相当額	1,349,000	1,250,000	1,395,000
記念事業支援金相当額	0	0	0
事業収入	0	0	0
支部大会	0	0	0
講演会	0	0	0
研究会	0	0	0
	0	0	0
補助金収入	0	0	0
補助・助成	0	0	0
雑収入(利息等)	0	51	0
当期収入合計(A)	1,349,000	1,250,051	1,395,000

支出	2012年度		2013年度
	予算	決算	予算
事業費	780,000	779,556	830,000
支部大会	250,000	28,613	250,000
講演会	250,000	188,943	250,000
研究会	200,000	491,700	250,000
学生奨励賞表彰	80,000	70,300	80,000
管理費	569,000	510,040	565,000
評議員会・幹事会	450,000	343,060	450,000
総会	50,000	138,885	50,000
事務委託会社への委託費	0	0	0
ホームページサーバ使用料	50,000	23,480	50,000
その他	19,000	4,615	15,000
雑費	0	0	0
予備費等(任意)	0	0	0
当期支出合計(C)	1,349,000	1,289,596	1,395,000
当期収支差額(A-C)	0	-39,545	0

5 ページ：掲載略

6 ページ：掲載略

7 ページ：掲載略

## Welcome to SJCIEE 2013

SJCIEE 2013: Shikoku-section Joint Convention of the Institutes of Electrical and related Engineers.

## 平成25年度電気関係学会四国支部連合大会のご案内

☆☆☆ 多数ご参加いただきますようご案内いたします ☆☆☆

開催日時	平成25年9月21日(土) 9:00 ~ 17:00 (受付:当日8:00~、前日15:00-17:00)
場 所	徳島大学工学部共通講義棟(徳島県徳島市南常三島町2-1)
主 催	電気学会, 電子情報通信学会, 情報処理学会, 照明学会, 映像情報メディア学会, 計測自動制御学会, IEEE, 電気設備学会 各四国支部
講演内容	最近行った主催学会に関連ある研究, 調査, 設計, 開発, 工事報告, 現地試験報告などで学術的価値があるもの。
参加資格	大会への参加資格は特に定めません。
大会参加費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前参加申込の場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>大会ホームページから, 事前に参加申込手続きが必要です。</li> <li>締切: 8月30日(金) 、送金も完了すること</li> <li>・ 大会参加費 (CD-ROMを含む): <ul style="list-style-type: none"> <li>正会員 3,000円, 非会員(学生以外) 3,500円,</li> <li>学生(発表者)(留学生を含む) 1,000円, 学生(聴講のみ) 0円(事前登録は必要)</li> </ul> </li> <li>・ 論文集 (CD-ROM)のみ購入: 3,500円(郵送の場合), 3,000円(会場で受取の場合)</li> <li>・ 懇親会: 一般 2,000円, 学生 1,000円</li> <li>・ 送金 <ul style="list-style-type: none"> <li>大会参加費等は銀行振込により送金してください。(振替手数料は申込者負担)</li> <li>振込人名の前に, 申込受付メールに記載の受付番号を記入してください。</li> <li>徳島銀行 助任支店 普通預金 8534223</li> <li>平成25年度電気関係学会四国支部連合大会 会計幹事 宋 天</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>大会当日に, 受付にて参加章と大会プログラムを必ずお受け取り下さい。</li> </ul> <li>○ 当日参加申込の場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大会参加費 (CD-ROMを含む): <ul style="list-style-type: none"> <li>正会員 4,000円, 非会員(学生以外) 4,500円,</li> <li>学生(発表者)(留学生を含む) 2,000円, 学生(聴講のみ) 1,000円</li> </ul> </li> <li>・ 論文集 (CD-ROM)のみ購入: 3,000円</li> <li>・ 懇親会: 一般 2,000円, 学生 1,000円</li> </ul> </li>
ホームページ	<p>詳細は, 電気関係学会四国支部連合大会ホームページ (<a href="http://sjciee.org/">http://sjciee.org/</a>) をご覧下さい。</p> <p>大会事務局 TEL: 088-656-7447, E-Mail: <a href="mailto:meeting@sjciee.org">meeting@sjciee.org</a></p>

## ★ 一般講演 ★

実施日時	平成25年9月21日(土) 9:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 17:00
場 所	徳島大学工学部共通講義棟
講演部門	「基礎」,「放電物理」,「電力」,「電気機器」,「パワーエレクトロニクス」,「照明・電熱」,「計測」,「制御」,「電子回路」,「計算機」,「材料」,「通信」,「映像メディア・画像処理」,「医用生体工学」,「情報処理基礎」,「情報処理応用」,「情報システム」
講演形態	講演(7分)質疑応答交代時間(3分)により,1講演につき10分間。 プロジェクトのみ事務局が準備します。発表者は各自パソコン等を用意して下さい。発表者は、交替後速やかに発表できるようご準備ください。
講演者	各主催学会会員

## ★ 懇親会 ★

実施日時	平成25年9月21日(土) 17:00 ~ 19:00
場 所	徳島大学生協食堂
会 費	一般 2,000円, 学生 1,000円
申込方法	大会ホームページから,事前の参加申込手続きが必要です。(締切:8月30日(金)) 定員に余裕があれば、当日も受け付けます。

## 平成25年度電気関係学会四国支部連合大会発表論文募集要項

平成25年度電気関係学会四国支部連合大会を下記要領により開催します。奮ってご投稿下さい。

実施日	平成25年9月21日(土)(一般講演, 懇親会)
場所	徳島大学工学部共通講義棟(徳島県徳島市南常三島町2-1)
講演資格	<u>講演者は、下記主催学会の会員(学生会員を含む)であること。ただし、企業からの発表についてはこの限りではない。留学生については、国内外の電気関連学会の会員であれば講演資格を有する。また、申し込み時に入会手続き中である場合は、8月末までに入会手続きを完了すること。</u>
講演部門	「基礎」、「放電物理」、「電力」、「電気機器」、「パワーエレクトロニクス」、「照明・電熱」、「計測」、「制御」、「電子回路」、「計算機」、「材料」、「通信」、「映像メディア・画像処理」、「医用生体工学」、「情報処理基礎」、「情報処理応用」、「情報システム」、「その他」(ただし、発表部門は実行委員会において変更する場合があります。)
講演内容	最近行った主催学会に関連ある研究、調査、設計、開発、工事報告、現地試験報告などで、学術的価値があるものとする。すでに発表済みのもの、あるいは発表予定の内容と著しく類似するものは受理しない。
講演件数	講演は一人一件に限る。ただし、同一人が数件の投稿論文の共著者になることは差し支えない。
講演形態	口頭発表(質疑応答を含め10分間)。事務局が液晶プロジェクタを準備するので、発表者はパソコン等を用意すること。
講演論文	実行委員会指定の「論文原稿見本」に従うこと。図面、写真等を含めて <u>A4 版用紙 1 ページ</u> の原稿を、ワープロ等を用いて作成すること。指定の様式から外れた原稿は受理しない(特に、 <u>A4 版用紙であること、上端 30mm、下端 25mm、左右各々 18mm の余白を残すこと、講演題目の左に講演番号を挿入するための余白を 50mm 以上確保することに注意</u> )。
講演申込	講演申込方法は、6月中旬までに下記の連合大会ホームページにて案内する。
投稿期限	原稿は、平成25年7月28日(日)17時までに下記ホームページから投稿すること。投稿期限後の変更・訂正には一切応じない。
講演言語	論文および発表言語は、日本語または英語とする。
諸費用等	大会参加費(論文集(CD-ROM)代を含む)は、銀行口座振込により送金すること。振替手数料は申込者負担とする。送金者名の前に受付番号を付記すること。 <u>複数名を同時に送金する場合は、全員の氏名および受付番号を FAX あるいは電子メールで事務局宛通知すること。</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大会参加費(論文集(CD-ROM)代を含む) <ul style="list-style-type: none"> <li>事前登録(8月30日までに送金・登録が完了すること) <ul style="list-style-type: none"> <li>正会員 3,000 円、非会員 3,500 円、学生会員(留学生を含む) 1,000 円</li> <li>振込先 徳島銀行 助任支店 普通預金 口座番号 8534223</li> <li>平成 25 年度電気関係学会四国支部連合大会 会計幹事 宋 天</li> </ul> </li> <li>現地登録 <ul style="list-style-type: none"> <li>正会員 4,000 円、非会員 4,500 円、学生会員(留学生を含む) 2,000 円</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
事務局	〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町2-1 徳島大学工学部電気電子工学科 内 平成 25 年度電気関係学会四国支部連合大会実行委員会 事務局担当 TEL : 088-656-7447 (庶務 : 直井美貴) FAX : 088-656-7447 E-mail : meeting@sjciee.org
ホームページ	一般講演、懇親会等の詳細および連合大会事務局からの連絡は、 <u>随時ホームページを通じて行う。</u> 電気関係学会四国支部連合大会ホームページ <a href="http://sjciee.org/">http://sjciee.org/</a>
主催	電気学会、電子情報通信学会、情報処理学会、照明学会、映像情報メディア学会、計測自動制御学会、IEEE、電気設備学会 各四国支部
その他	優秀論文発表に対して次の表彰がある。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電気関係学会四国支部連合大会 優秀発表賞および英語発表奨励賞</li> <li>・ 電気学会論文発表賞 B (35 歳以下の電気学会会員対象)</li> </ul>

# 電気関係学会四国支部連合大会原稿見本

## The Writing Sample for the Shikoku-Section Joint Convention of the Institutes of Electrical and Related Engineers

電気 太郎<sup>1</sup> 四国 次郎<sup>2</sup> 連合 三郎<sup>3</sup>  
 T.Denki<sup>1</sup> J.Shikoku<sup>2</sup> S.Rengoh<sup>3</sup>  
 (電気大学<sup>1</sup>, 情報大学<sup>2</sup>, 通信高専<sup>3</sup>)

### 1. まえがき

論文集は、発表者から投稿された PDF 形式の原稿を原稿として、A4 サイズでそのまま CD-ROM 化が行われるため、以下の点に注意して原稿を作成する。原稿の書き方が不相当である場合は、原稿どおりに掲載できないので十分注意する。

### 2. 原稿の書き方に関する注意

原稿は 1 件あたり、表題、著者名、図や写真、表を含めて A4 版サイズ 1 ページに限る。さらに CD-ROM の容量制限のため、各原稿の容量を 500kB 以内に制限する。

### 3. 原稿フォーマット

図 1 に、原稿用紙イメージを示す。図のように、原稿用紙の上端 30mm、下端 25mm、左端および右端にそれぞれ 18mm の余白を必ず置く。また、表題欄については、論文番号を記入するために左端 50mm までの間、上端を 45mm にわたり空白を必ず空ける。

原稿はワープロソフトを使用して作成し、あまり小さいフォントを使用しないようにする。なお、文字の色は黒を使用する。

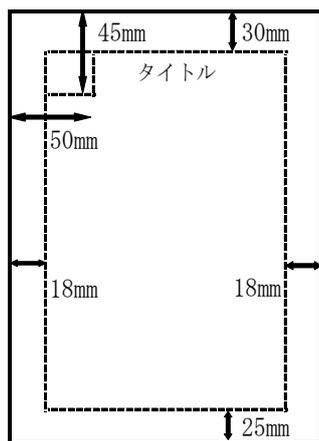


図 1 原稿用紙イメージ

### 3. 1. 表題

表題欄は、本文より大き目の文字で原稿用紙の 1 行目から書く。日本語論文の場合は必ず英語表題を日本語表題の下に付ける。

### 3. 2. 著者名

表題の下に書く。日本語論文の場合は必ずローマ字の著者名を併記する。その書式は、“名のイニシャル” + “.” (ピリオド) + “姓” とする。

### 3. 3. 所属

著者が一人の場合は、“氏名 (所属)” のように著者名に続けて所属を書く。著者が複数人の場合は、氏名を書き、行を改めて所属を書く。このとき、すべての所属先を一組のかっこ“( )”で囲み、右肩上付きのアラビア数字でそれぞれの所属を示す。

### 3. 4. 使用フォント

原稿内に使用するフォントは表 1 のものに限定する。

### 3. 5. 写真や画像

PDF 化することにより、出力品質が劣化することがある。ファイル制限の 500kB 以内で PDF 化する際に、ジョブオプションの値をできるだけ高くして作成する。

### 3. 6. PDF ファイルのセキュリティ設定

事務局側で論文番号追加等の作業を行うため、セキュリティ設定はしない

### 3. 7. 参考文献

参考文献がある場合は、引用番号を付けて最後にまとめて列挙する。

表 1 使用フォント

	Windows	Macintosh
日本語	MS明朝または MSゴシック	細明朝または 中ゴシック 平成明朝または 平成角ゴシック
英語	Arial, Century, Times New Roman, Helvetica, Symbol	

(注意) 本例は説明のために原寸から縮小されている。